

2016年10月31日

Cell Innovation Partners Limited

ベルギー、ルーヴァン・カトリック大学発の肝疾患を対象とした他家・細胞医薬品開発ベンチャー Promethera Biosciences SA への出資を実行

Cell Innovation Partners Limited(以下、「CIP」)は Cell Innovation Partners, L.P.を通じ肝疾患を対象とした他家・細胞医薬品の開発を行う Promethera Biosciences SA(以下、「Promethera」)(本社:モン・サン・ギベール、ベルギー、CEO: John Tchelingierian)へ、パイプラインの臨床開発を目的とした総額 10 百万ユーロの調達において、1 百万ユーロの投資を行いました。

本調達では、既存投資家の欧州バイオベンチャーキャピタル大手 Vesalius Biocapital(所在地:ルクセンブルク)、三井グローバル投資(所在地:東京)、ドイツ大手製薬 CVC Boehringer Ingelheim Venture Fund(所在地:インゲルハイム・アム・ライン、ドイツ)など 8 社に加え、三菱 UFJ キャピタル(所在地:東京)、再生医療製品等の開発を行っている韓国の事業会社 LifeLiver(所在地:ソウル、韓国)も新規投資家として出資を行っています。

Promethera が開発を行っている他家・細胞医薬品 HepaStem は健康人ドナーの肝組織由来の肝前駆細胞です。これまでの治験で安全性は確認されており、現在欧州で希少疾患である尿素サイクル異常症を対象とした Phase 2 の治験で有効性の検証を進めており、日本においても現在 PMDA と治験実施に向けた協議を進めています。

尿素サイクル異常症は先天的な異常により肝臓でアンモニアを尿素に分解することができない希少疾患です。健康人の場合生体内で発生する有害なアンモニアは肝臓の尿素合成経路の酵素によって無害な尿素に分解されます。尿素サイクル異常症の患者はこの酵素に遺伝的な欠損が生じているためアンモニアを尿素に分解することができません。その結果、血中のアンモニア濃度の上昇が中枢神経障害を引き起こし、死亡することも珍しくない重篤な疾患です。現在根本的な治療法は肝移植しかないとされています。

HepaStem の特徴は肝移植と異なり 1 人のドナーから多数の患者を治療できることです。健康人ドナーの肝組織から単離、精製、培養して製造される HepaStem は、入手が限られる健康人ドナーの肝臓を有効に活用することができます。

また尿素サイクル異常症以外にも有効な治療法がないとされる重篤な肝疾患への効果が期待されており、Promethera は慢性肝不全の急性増悪 (ACLF) を対象とした Phase 2 を開始し、現在患者リクルーティングを行っています。

CIP は日本での臨床開発支援を通じ Promethera の成長を支援するとともに、引き続き再生医療ベンチャーへの資金供給を通じ再生医療の実用化に貢献して参ります。

Promethera Biosciences SA の概要:

設立: 2009 年
事業内容: 他家・細胞医薬品 HepaStem の開発
本社所在地: モン・サン・ギベール、ベルギー
CEO: John Tchelingierian
URL: <http://www.promethera.com/>

Promethera 社の尿素サイクル異常症を対象とした治験計画概要:

URL: <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT02489292?term=Promethera&rank=3>

問い合わせ先:

Cell Innovation Partners Limited 担当 西村 和将
メール: contact@cell-ip.com
URL: <http://www.cell-ip.com/>